

## 令和7年度 第1回苫小牧市防犯のまちづくり懇話会開催結果

- 1 日 時 令和7年7月29日(火) 15:00から15:58まで
- 2 場 所 苫小牧市役所2階 21会議室
- 3 出席委員 山端委員長、谷澤委員、在家委員、松平委員、佐藤委員、柳田委員、尾崎委員、中田委員
- 4 欠席委員 松村副委員長、渡邊委員、藤委員、向井委員
- 5 市側出席 畑島市民生活課課長、本田市民生活課課長補佐、伊藤市民生活課主査

### 6 次 第

- 1 開会
- 2 山端委員長挨拶
- 3 札幌方面苫小牧警察署 生活安全課 水島氏挨拶
- 4 報告事項
  - (1) 苫小牧市防犯ガイドブックについて
  - (2) 事前アンケートにかかる回答について、事務局より一括説明
- 5 懇談要旨

#### 【中田委員】

- ・防犯ガイドブックの4ページに、子ども等への安全対策というところで、出前講座をされていたり小・中学校での防犯教室の実施がされていると思うんですけど、子どもの対象だけでなくその保護者も交えた、教室をしていただけるといいなというふうに考えています。子どもが小学校に上がるタイミングで、親御さんたちが子どもの犯罪に巻き込まれるリスクが上がり、心配されるタイミングだと思うんですけど、小学校1年生には実際に教室とかされると思うんですけど、その子供が親に「こういうことを聞いてきたよ」と説明するには、まだコミュニケーション能力が足りなかったりとか、親ももっとうこういうことを先に知っておけたらと考えることがあるので、幼稚園から小学校に上がるタイミングで、保護者も子供も巻き込んだ教室を市の方でやっていただけると親として安心だなと思いましたので、意見として出させてほしいと思います。

#### 【市回答】

- ・御意見をいただきましたので、検討させていただきます。  
小学校、中学校につきましては、どちらかといいますと、市というよりも警察さん

の方でやっていただくパターンが多いと思いますので、警察さんの方では、保護者の方も入れてされたことはない。授業中の中で行うので保護者の方には時間的な制約があると思いますので、そういうところも含めて警察さんと協議していきたいと思います。

**【尾崎委員】**

- ・ わいせつ犯がこの地区で出ましたというのはよく出るんですけども、逮捕されたというのは出ないんです。そういうのもホームページでいいので、載せてほしいなと思います。

**【市回答】**

- ・ 警察さんの方で上げている、わいせつ者が逮捕されたという情報は出しています。逮捕されていない事案の方が非常に多くて、予兆といいますか、不審者がいて、いなくなったというパターンが多くて、そういうものは随時上げているんですが、警察さんで分かったものは上げています。

**【水島氏】**

- ・ 逮捕するような場面であれば、報道に関して逮捕したことについては伝える義務があるので、その辺については、わいせつ事案でもどんな案件でもあげるという形にはなっていますので、それ以外に逮捕していなくて、呼んで話を聞いて検挙するというような場面があるんですけども、在宅検挙とかテレビで聞いたことがあると思いますが、逮捕しないけども検挙するというケースになると、報道の方に警察では伝えることがないので、その部分については報道の方から見聞きすることがないかなと思うんですけども、それ以外警察の方で、ほくとくん防犯メールというのがあるんですが、「わいせつがありました」とか、「不審者がありました」ということについては、情報発信をしていくことになってまして、例えば犯人が逮捕されるということは犯罪で罪名があった時なんですけど、逮捕されたわけではなくて例えば声を掛けたとか、容姿を撮影したなどは犯罪にならない行為なので、警察が警告をした場合にもこういうことについては、例えば、公園で声掛けをしたことについては解決しましたというメールは出してはいます。なので、解決してないものは解決してないという内容になってしまうので、今年に入って、解決したのが2件か3件くらいしかないの、発生に比べたら少ないので、見聞きした場面は少ないのかなと思うんですけども、こちらの方では、検挙なり解決した案件は、警察が

発信できるものに関しては発信をしていますので、その辺を見ていただけたらなと思います。

**【柳田委員】**

- ・最近、熊の出没が多くて、人への被害も出ていますけれども、沼ノ端の方に出没しているのは聞いております。自分の住まいは西地区のぞみの方なんですけど、樽前山の地区防が建設されていますけれども、あの辺一体も熊の出没がありましたので、熊から人への被害、子供たちの中心的な未来の行く末、動物対策の防犯というのも非常に重要になると思います。鹿は非常に多いんですが、鹿においては車との接触、交通事故の部分につながるということで、交通路線も考えていかなければならないのですが、熊の場合は別問題で、山の方の動物の防犯対策も考えていかなければならない、必要になってくるのではないかと思っております。

**【市回答】**

- ・今、動物のというお話があったんですけども、犯罪となった時の線引きをどこに置くかというところが、今のところ悩ましいこともあって、

**【柳田委員】**

- ・防犯のセキュリティというところで、ヒグマというのは、非常に気性が荒いので、そういうことも含めて子供の命を守ることも、我々の役目ではないかと思えます。

**【市回答】**

- ・線引きというのは別な話になるかもしれませんが、熊の関係であれば市の環境生活課が情報収集をしております。子供の安全対策といった中では、当然、教育委員会であるとか、市の内部でも連携が必要になりますし、出没のパトロールの際には、警察署さんの方にもいろいろ御協力いただいたりということで、やはり連携を図っていくことが必要だと思うので、それだけに特化した部分ということではないんですけど、そういったところもこの防犯計画にリンク付けといいますか、関連付けさせながら取り組んでいく形にはなるかなと、今の御要望のところは考えていくようになると思います。

**【佐藤委員】**

- ・子どもの安全対応のところ、先ほど中田委員のおしゃってた、小学校入学前のお子さんの保護者に対する安全の講習とかを、入学前にするのが効果的だというお話があったんですけど、もちろん効果的だとは思いますが、市が主催して行うとなった

時に、集まるのはいつも意識の高いお母さんと子供で、本当に聞いてもらいたい意識のそんなに高くない保護者というのは、なかなか市が主催とか教育委員会が主催となると集まりにくいと思うんですね。私、町内会の役員もやらせてもらってるんですが、入学前の子供と保護者に対して、入学する前の秋に、雪降る前に通学路を歩いて地域安全マップ作りを保護者と子供と行うということを町内会行事でやったことがあるんですね、でやったんですけどやはり来るのは、いつも来るような意識の高い親で、本当に来てもらいたい親がなかなか来ない現状がありました。なので、市で一斉に声を掛けたら集まるわけではないので、そこを町内会連合会とかそういうところと連携して、細かく刻んでというか、校区でもいいですしコミュニティースクールでもいいので、細かい範囲で開催していくのが有効じゃないかというふうに考えました。それと、教職員への不審者対応訓練、同じ子どもの安全対応の中の①のところにあるんですけど、不審者対応訓練というのは、警察が主導して指導して行っていると思うんですが、私、この夏千葉県の教職員の安全の講習の講師をしてまして、5回オンラインでやってるんですが、先生たちの安全認識、例えば実働的などというか、不審者が入ってきて侵入者に対しての実働的な訓練というのは、やることが多いと思うんですけど、犯罪がどこで起こりやすいか、そのためにはどういう対策を子供がとればいいのか、地域がとればいいのかというところの学習が、苫小牧の方でやっているのかという部分が気になります。私の今年設立20周年なんですけども、たしかに15年位前までは夏の先生たちの研修に呼ばれて、結構忙しくやってたんですけど、この15年位全く私にお呼びがかからないんですね。人気がなくなっちゃただけというか、あまりニーズがないのかな、その間震災とかもあったので、どちらかというところの方に先生たちの研修とかも防犯よりの防災の方に向かって行っているような気がします。そこの部分、保護者に訴えるのも、子供に訴えるのもそうなんですけども、先生たちも同時に、子供の安全を軸にして考えたときには、絶対に必要な大人の分類というか、先生と保護者と地域というのは、この三者というのは絶対に必要なもので、安全認識を同時に挙げていく必要があると思います。その辺を一緒に考えていければいいなと思ってます。要望です。

#### 【市回答】

- ・今、大きく2つだったと思うんですけど、順番逆になるかもしれませんが、学校の今の防犯の考え方というのが、私どもの方で細かいところまで聞き取っているわけではないですが、どちらかというところ、学校内での対策というのが、防犯に関しては

ちょっと意識が強くなっているイメージは持っているんですよね、  
例えば、今事例の中でも紹介さしあげましたけれども、学校内の防犯カメラの設置とか、これはどちらかという外向けというよりも中向けということになるので、やはり、意識が中に向いているかなという印象は正直取り組みを見てもちょっと感じているところがあります。ただ、それに対して各教員の方が、例えば研修であるとか、知識を身に付けていくとか、こういった取り組みというのは、確認はしてみたいとは思いますが、ここ数年、防災に対する意識が強いというのも、意識的に働いているのは重々感じてますので、実際、防災だけでなく防犯であるとか、私どもの所管の交通安全であるとか、そういったところ広く、教員の方々も大変だとは思いますが、知っていただきたいところもありますので、引き続き教育委員会の方と学校の現場の方にも確認しておきたいと思えます。それと、防犯マップなんですけれども、各学校の方でこういったところが危険だということで、マップ作りは今も行われているのは事実なんですけれども、どちらかという、子供主体の情報に特化されつつあるかなという印象があります。それを踏まえて教員の情報というのが、いかにそこに入ってくるのかというのが、統一されていないんじゃないかなというところは正直あるかもしれないです。やはり、地域的な部分でこういった犯罪の傾向が多いというのも、地域によって若干偏りがあるというのもお聞きしておりますので、傾向というのは、一律的にはできないと思うんですけど、教員が犯罪情報を、その学校のエリアではどこで発生しているという情報を、つかんでほしいというのは、せっかく子供たちが自発的に作っていただいているので、先生たちにもぜひ共通の認識を持っていただきたいなと呼び掛けていきたいと思えます。最後に、先ほど中田委員のお話もありました、研修のところですね、私たち、出前講座をやるときに、サークル単位というのでしょうか、そういう単位でやるのが多くなってきてるんですけども、よく使われるのが町内会のとある一部分の部会、例えば、町内会ごとにある老人クラブとか、そういった単位で実施する部分、あとは青少年部に実施する部分が多いので人数にすると10～20人くらいでしょうかね、そういった単位の出前講座が数多くあるので、その数を重ねていくことで広めていくというのは、やり方としては重要かと思ってます。先ほどもおしゃってたとおり、意識の高い方だけが参加するという傾向だけが、どうもなかなか変えていくのが僕らも難しいところで、広く参加していただくというのは、昔から今も課題としては変わってないのかなと思うので、そこは、何かいい方法があれば、

どんどん取り入れていきたいなというふうに思うので、今後こういった方法がありますというのがあれば、ぜひ参考までにお知恵を拝借したいなというふうに思います。

**【佐藤委員】**

・防犯マップと書いてあるんですけど、私これできるときにも指摘したんですけど、子供たちが作っている地域安全マップと、犯罪の発生状況を示した防犯マップは全く違うもので、子供たちが自発的に作っているのは、作ってできたマップが重要なのではなくて、作る過程が大切で、犯罪の起こりやすい場所を自ら探して行って、自ら安全な場所を自分の地域の中で見つけて、それを応用して日本中どこ行っても、世界中どこ行ってもパッと見たら、どこで犯罪が起こるかわかるような力を養うというのが地域安全マップなんです。なので、できたマップを活用するというのは、たぶん違ってるのかなと思うんです。犯罪対策閣僚会議とかでも地域安全マップ作りは、効果が高く防犯力を高めるといわれたんですけど、正しい作り方とか認識を大人が、その時はすごく盛り上がったので、みんな認識を持ったんですけど、10数年たっちゃってまた、交通安全とか熊発生、鹿発生とかそういうマップと同じになっちゃってるところが問題だなと考えてるんです。私としては、それを20年くらいやってきたので、それを正しくしていくのが自分の任務だと思っているので、やってはいるんですけども、そこをちょっとだけ認識を持っていたらなと思います。要望とかはありません。

**【中田委員】**

・広く伝えるといういい方法の事例として、お伝えしておきたいことがあるんですけども、昨年度、ひかりの国幼稚園とひかり幼稚園で、卒園児さんに講演をさせていただきました。園長先生の配慮で届けたい家庭にも情報が届くようにということで、お子さんが参加する親子レクの開催日に講演をぶつけて、開催するというふうにして、普段参加されない方もそこには参加する、そのまま講演を聞いてもらうという道を園が協力大勢万全の元、開催することができたので、そういったように、園なり学校なりの協力を得ながら、お子さんと保護者の方がこれなら参加するであろう、参加率が高いものと合わせて、そういった講演を開催されると、おそらく、普段参加されないような方のところにも、情報が行き届くのではないかなというふうに思います。

**【谷澤委員】**

- ・今のにちょっと追加というふうになってしまうんですけども、小学校に上がるのに学校説明会ってありますよね。その時もほぼ全員が参加するので、いいかなと思いました。

**【市回答】**

- ・参加率という意味では、ほぼ100パーセントなので効果的かなと思います。学校単位なので、地域が飛び飛びになることがないので、ある程度同じ情報を欲しいエリアの方になるので、その中で広く参加者がいるところで同じ話を聞いていただいて、情報の認識を横の展開でいくということであれば、確かに先ほどの幼稚園の講演の親子レクの日もそうですし、今おっしゃってた学校説明会の日なんかもそういう意味では、先ほどお話のあった意識の高い方だけに限らず、参加するタイミングではあるので、学校、幼稚園、保育園などと、そういったところをご相談させていただきながら、できる範囲で取り組んでみたいかなと思います。

**【尾崎委員】**

- ・防犯ガイドブックの7ページの暴力団排除で、公共事業からだけ排除と見えるんですけど、一般市民は守りようがないのか。苫小牧市の海運業者の課税を免除しているところがあるが、そういうのも把握してるでしょうか。

**【市回答】**

- ・それは、暴力団員の把握ということですか。

**【尾崎委員】**

- ・暴力団で経営している会社の把握とかはやってるんですか。

**【市回答】**

- ・資料の7ページのところの話でいくと、

**【尾崎委員】**

- ・公共事業だけの排除みたいなんですけど、一般市民を守ることをやっているのか聞きたい。

**【市回答】**

- ・一応、ここで掲げている取り組みに関しては、あくまでも市の公共的な取り組みに関する部分になるので、まずはそこの部分は率先して取り組んでますよと。一般の方々向けということになると、大変申し訳ないんですが、私どもの話だけでなく、警察署さんとの連携の中での話になるので、そういった部分では把握されているという認識でお答えできるんでしょうかね。

【水島氏】

- ・一般企業の業務という話になればちょっと、一般企業なりの経営理念とかの形もあるので、ちょっとその辺に関しては、あとは、暴力団に関しては、把握しているところはありますけど、いくら暴力団だからといって個人情報的なところもありますので、警察で把握できている部分はありますけど、すべてがすべて、皆さんに情報を開示できるかというところ、それはそれでできる場面とできない場面がありますので、その辺は適宜そのような必要性があったところからの情報開示請求があれば情報の開示というのはやっています。回答に合わない感じかもしれませんが、警察の方ではできる限りでは回答できるものは回答しているつもりですし、公共から来たものもそのように回答しています。

【谷澤委員】

- ・5ページの子ども SOS のステッカーなんですけれども、知り合いのお家が外側に向けて貼っているのが薄くなってきている。日焼けとかして薄くなってきていて、そういう場合は、どこに言ったらいただけなのか、定期的に配られているとかあったりするのでしょうか。

【市回答】

- ・防犯ガイドブックの方にも書いていますが、担当課としましては健康子ども部の青少年課が担当していますので、そちらに相談していただければ

【谷澤委員】

- ・それは個人でですか。何十年も貼られてるみたいで、交換は自分で申請すれば新しいのをいただけるということですか。

【市回答】

- ・導入から20年くらい経つと思うんですね、10年ほど前くらいからだいぶ色あせているという話が結構多くて、担当課の方で更新というふうにはしていたんですけども、ステッカーも20年前の時に配布数も多くて、今更新するとなると、予算との相談になるという話がでて、一部分更新はかけてはいるんですけども、配布した全世帯分が一気にそうそう、何回も更新を細かくできないという話があるので、担当課の方では、一括更新とかに備えた考え方は持っているんですけども、お問い合わせのある部分については、即座に対応できるように、動きたいということでお話はいただいているので、まずはお問い合わせいただくことが大事かなと、ただ、その時点で在庫があるかどうかはタイミングにもよると思いますので。

**【谷澤委員】**

- ・在庫があれば、ただでというか。

**【市回答】**

- ・そうですね。

6 その他

**【市説明】**

- ・次回の懇話会は、令和8年1月頃、第2回を予定しておりますので、その際には、また、御案内させていただきますので、御参加をお願いいたします。

**【佐藤委員】**

- ・私どもで、「子どもゆめ基金」という助成金があるんですけども、子どもゆめ基金で「地域安全マップ指導者養成講座」の助成を今年度とったんですけども、昨年度は、神戸と京都でやって今年は札幌で行う予定で、経費にかかわるものをとったんですが、札幌でやろうと思っていたところができなくなりまして、もし、苫小牧で「地域安全マップ指導者養成講座」を行いたいという団体や地域等があれば、開催することができるんですね。ただし、20名以上じゃなきゃいけないとか、いろいろ規定が、子どもゆめ基金てめんどくさい規定があるんですけども、お金はかからずにやろうと思えばお受けできる状況がありますので、もし、ご興味ある団体さんですとか、地域ですとかあれば、お声かけいただければと思います。必ずできるとはお約束できないですけど、札幌から苫小牧に変わりました、いいですか？というお伺いもたてなきゃいけないので、必ずできるとは限らないですが、長い1日フルでやるコースとそんなに長くはやってられないという場合は、3時間で終わるコースとか考えて、開発した教材、未来の教材なんかを使いながらやろうと思っておりますので、御興味があれば御連絡ください。

15：58 終了